

中学校・高等学校

中期計画の項目					年次計画(2023～2027年度)					備考・特記事項等
大項目	中項目	小項目	KGI(重要目標達成指標)	KPI(重要業績評価指標)	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	
I. 教学内容の充実	1 生徒指導の充実	1) 将来の自立に向けた基本的生活習慣の確立	教職員自ら模範を示せるよう行動し、生徒への啓発を強化できるか。	各部門、各学年、各教科で取り組みの強化を進める	教職員自ら模範を示せるよう行動し、生徒への啓発を強化。	→継続	→継続	→継続	→継続	
		2) マナー意識、規範意識を育む教育の推進		生徒指導部を中心として、指導、啓発を徹底。						
		3) 挨拶、コミュニケーション能力向上の取り組み		生徒が爽やかに挨拶ができる割合を高める。						
	2 学習指導の充実	1) 新カリキュラムの教学内容の研究	教務部、各教科で授業についての検証を行い、研究授業等を通して内容の充実を図れるか。	教科会議、研究授業で成果を確認しながら、修正を行う。	教務部、各教科で授業についての検証を行い、研究授業等を通して内容の充実を図る。	→継続	→継続	→継続	→継続	
		2) 授業アンケートを活用し、授業の質を高める為の教員のスキルアップ	これまでの授業アンケートの在り方についても検証しながら、教職員のスキルアップを進められるか。	授業アンケートの経年比較なども検討する。	授業アンケートを活用し、教職員のスキルアップを進める。	→継続	→継続	→継続	→継続	
		3) 基礎学力の定着から論理的に物事を考え判断する力を育む指導の充実	読書習慣の確立から、文章を読んで理解し、自らの意見を文章化できる力をつけるよう取り組めるか。	教科会議、研究授業で成果を確認しながら、修正を行う。	読書習慣の確立から、文章を読んで理解し、自分の意見を文章化できる力を修得させる取り組みの強化。	→継続	→継続	→継続	→継続	
		4) 探究学習を通じた応用力の育成	他校事例などを参考にしながら、生徒の探求する力の育成できるか。	研究、実行に向けて中心的に取り組む部署を創設する。	他校事例などを参考にしながら、生徒の探求する力を育成する。	→継続	→継続	→継続	→継続	
		5) 研究発表大会等の参加啓発とサポート環境づくり	他校事例なども参考にしながら、生徒が取り組める環境づくりを進められるか。	研究、実行に向けて中心的に取り組む部署を創設する。	他校事例なども参考にしながら、生徒が取り組める環境づくりを進める。	→継続	→継続	→継続	→継続	
	3 進路指導の充実	1) 生徒の目標達成に向けた丁寧な進路指導の充実	学園の生徒の状況をしっかり把握し、求められている進路指導の方向を見極め、適宜修正対応を強化しているか。	進路指導部を中心として、進路指導の拡充に向けた研究、研修を強化する。	学園の生徒の状況をしっかり把握し、求められている進路指導の方向を見極め、適宜修正対応を強化する。	→継続	→継続	→継続	→継続	
		2) 四年生大学進学率を増やし進学実績の向上	大学進学率を75%以上を目指して、生徒の学力の底上げを図り、進学実績を向上させられるか。	進路指導部を中心として、進路指導の拡充に向けた研究、研修を強化する。	★大学進学75%以上、国公立20以上、関関同立80以上	★大学進学75%以上、国公立20以上、関関同立100以上	★大学進学75%以上、国公立50以上、関関同立120以上	★大学進学75%以上、国公立50以上、関関同立120以上	★大学進学75%以上、国公立50以上、関関同立121以上	
		3) 進路目標に向けての組織的・継続的な取り組みの拡充	生徒毎に異なる種々の進路目標に丁寧に対応できるような組織づくりを進められるか。	進路指導部を中心として、進路指導の拡充に向けた研究、研修を強化する。	生徒毎に異なる種々の進路目標に丁寧に対応できるような組織づくりを進める。	→継続	→継続	→継続	→継続	



中期計画の項目					年次計画（2023～2027年度）					備考・特記事項等	
大項目	中項目	小項目	KGI（重要目標達成指標）	KPI（重要業績評価指標）	R5（2023）年度	R6（2024）年度	R7（2025）年度	R8（2026）年度	R9（2027）年度		
Ⅱ. グローバル人材の育成	3 ダイバーシティ理解教育の拡充	1) ダイバーシティを理解し、その中で活躍していける人材の育成	研修会等を通して、対応できる教員を育成して取り組んでいけるか。	研究、実行に向けて中心的に取り組むセクションを創設する。	研修会等を通して、対応できる教員を育成して取り組む。	→継続	→継続	→継続	→継続		
	4 国内・校内を含めたグローバル体験プログラムの拡充	1) 校内グローバル体験プログラムの拡充	情報をキャッチしながら、業者等との連携を深めて取り組めるか。	運営委員会、国際交流課で連携しながら研究を進める。	最新の情報を収集、分析しながら、業者等との連携を深めて取り組む。	→継続	→継続	→継続	→継続		
		2) 海外生徒との交流機会の拡充									
		3) 国内プログラムの情報提供と参加の奨励									
	5 海外大学進学者を増やす取組の拡充	1) 国際社会における日本の状況認識に向けての適切な情報の提供と生徒保護者への海外進学的重要性の認識を高める	情報をキャッチしながら、業者等との連携を深めて、生徒保護者に理解しやすい情報発信ができるか。	運営委員会、国際交流課で連携しながら研究を進める。	最新の情報を収集、分析しながら、業者等との連携を深めて、生徒保護者に理解しやすい情報発信をする。	→継続	→継続	→継続	→継続		
		2) 台湾・マレーシアを軸に海外進学に向けての説明会等の情報提供機会の設定	情報をキャッチしながら、業者等との連携を深めて、生徒保護者に理解しやすい情報発信ができるか。								
		3) 海外大学での研修や視察ツアーの企画・実行	マレーシアを中心に、海外研修、視察ツアーを計画実行できるか。								★マレーシアを中心に、海外研修、視察ツアーを計画し実行する。
	Ⅲ. DX戦略の推進	1 教学関連	1) 個人向けモバイルの活用法の研究	業者のアセスメントを参考にしながら検討できるか。	DX推進会議メンバーと運営委員会が連携しながら研究、実行を進める。	業者のアセスメントを参考にしながら検討をする。	→継続	→継続	→継続	→継続	
			2) 学力、探究心向上に向けた効果的な使用法の研究								
3) 生徒・保護者・教職員の連携ツールの研究と拡充			業者のアセスメントを参考にしながら検討・拡充できるか								
4) プログラミング教育の取り組みの拡充			スキルを持った教職員を中心にプログラムを構築できるか。								
2 行事関連		1) オンライン授業についての研究と拡充	現在も行われているが、より良いものを研究施行していけるか。	DX推進会議メンバーと運営委員会が連携しながら研究、実行を進める。	現在も行われているが、より良いものを研究、施行する。	→継続	→継続	→継続	→継続		
		2) 行事の動画配信や記録の拡充									DX推進会議メンバーと運営委員会、行事式典課が連携しながら研究、実行を進める。

中期計画の項目					年次計画（2023～2027年度）					備考・特記事項等		
大項目	中項目	小項目	KGI（重要目標達成指標）	KPI（重要業績評価指標）	R5（2023）年度	R6（2024）年度	R7（2025）年度	R8（2026）年度	R9（2027）年度			
Ⅲ. DX戦略の推進	2 行事関連	3) 各教室への情報発信・共有方法の研究		DX推進会議メンバーと運営委員会が連携しながら研究、実行を進める。								
	3 職務関連	1) 教職員の業務の効率化に向けて	教職員の業務軽減の為に、各部署・部門間の連携強化を検討していただけるか。	DX推進会議メンバーと運営委員会が中心となり、他部門と連携しながら研究、実行を進める。	教務システムの入れ替え作業 ★教務システムの入れ替え	→継続	教務システムをの使用を受けて適宜修正	→継続	→継続			
		2) 会議での活用の研究と実行	研修会等も含めて活用法を研究研修して活用をすすめるか。	DX推進会議メンバーと運営委員会が連携しながら研究、実行を進める。	会議でのteamsの活用頻度を上げる	→継続	→継続	★会議の完全ペーパーレス化実施	→継続			
	4 施設関連	1) より良いICT環境の研究と改善	他校事例や業者のアセスメントを参考にしながら検討していただけるか。		他校事例や業者のアセスメントを参考にしながら検討していく。	→継続		→継続	→継続	→継続		
		2) 教室、教職員のPC環境等の保守と整備	業者のアセスメントを参考にしながら検討していただけるか。	DX推進会議メンバーと運営委員会が連携しながら研究、実行を進める。	業者のアセスメントを参考にしながら検討する。	→継続		→継続	→継続	→継続		
		3) 情報教室等を含めた今後の全体構想の策定	業者のアセスメントを参考にしながら検討していただけるか。									
	5 学園としてのトータルデザイン策定	1) 生徒・保護者・教職員が連携して活用できるシステムの構築	教職員、そして保護者の負担軽減、生徒のサポートの充実の為に有効なシステムの構築できるか。	DX推進会議メンバーと運営委員会が連携しながら研究、実行を進める。	教務システムの入れ替えと連動してより良い環境を検討する。	→継続		→継続	→継続	→継続		
		2) 施設の今後のトータルデザインと保守整備	法人、大学とも連携をしながら、学園としてのDXトータルデザインを確立していただけるか。		法人、大学とも連携をしながら、学園としてのDXトータルデザインを確立する。	→継続		→継続	→継続	→継続		
	Ⅳ. 環境の整備	1 教育環境整備	1) 地域、生徒、保護者、教職員など誰からも信頼される魅力ある学園づくりの推進	学園の施策が正しい方向に進んでいるかの検証をしながら、持続可能な学園を確立できるか。	運営委員会を中心に、各部署との連携を強化しながら取り組む。	学園の施策が正しい方向に進んでいるかの検証をしながら、持続可能な学園の在り方を確立する。	→継続	→継続	→継続	→継続		
			2) 生徒保護者のニーズに合った教育環境整備	生徒保護者にアンケートを実施、検証し、対応可能な環境整備の対応ができるか。		保護者全員へのアンケートの実施を検討し、実施する。	→継続		→継続	→継続	→継続	
			3) いじめのない学校づくりの推進	「いじめ対策基本方針」に沿って生徒へのアンケート実施や通報システムの導入を通して、いじめが起らないように、起きた時の早期発見、解決に向けての体制が整えられるか。	運営委員会、生徒指導部、学年、人権教育課が中心となり、連携をしながら対応力を強化する。	「いじめ対策基本方針」に沿って生徒へのアンケート実施や通報システムの導入を通して、いじめが起らないように、起きた時の早期発見、解決に向けての体制を整える。	→継続		→継続	→継続	→継続	

中期計画の項目					年次計画（2023～2027年度）					備考・特記事項等	
大項目	中項目	小項目	KGI（重要目標達成指標）	KPI（重要業績評価指標）	R5（2023）年度	R6（2024）年度	R7（2025）年度	R8（2026）年度	R9（2027）年度		
IV. 環境の整備	1 教育環境整備	4) 部活動の活性化	部活動活動方針に沿って、適切に部活動が行える環境を整備できるか。	運営委員会、クラブ総顧問等で連携をしながら強化す。	部活動活動方針に沿って、適切に部活動が行える環境を整備する。	→継続	→継続	→継続	→継続		
		5) 制服・制服規定なども含めた校則の検討と見直し	本校の目指す教育方針はぶれることなく、生徒保護者に理解・支持をされる校則を検討していけるか。	運営委員会、生徒指導部、人権教育課が中心となり、連携をしながら研究、対応をしていく。	本校の目指す教育方針はぶれることなく、生徒保護者に理解・支持をされる校則を検討していく。	→継続	→継続	→継続	→継続		
		6) 建学の精神に基づき、生徒、保護者の将来の幸せに繋げられる教育環境の追求	社会、時代のニーズの変化を把握し、必要とされる人材育成の為に施策を検討していけるか。	運営委員会を中心に、取り組む。	社会、時代のニーズの変化を把握し、必要とされる人材育成の為に施策を検討していく。	→継続	→継続	→継続	→継続		
		7) 放課後の学習サポートの拡充	外部委託業者によるサポートと本校の自習室について精査しながら拡充していけるか。		外部委託業者の活用状況を精査してより良い環境の提供を目指して改善していく。	外部委託業者の活用状況を精査してより良い環境の提供を目指して改善していく。	→継続	→継続	外部委託業者を見直すかの検討。	外部委託業者の活用状況を精査してより良い環境の提供を目指して改善していく。	
	2 施設環境整備	1) 生徒保護者のニーズに合った施設環境整備	生徒保護者にアンケートを実施、検証し、対応可能な施設環境の整備ができるか。	運営委員会を中心に、取り組む。	★保護者全員へのアンケートを実施。	→継続	→継続	→継続	→継続	→継続	
		2) 施設補修・新規工事の年次計画の策定	業者などのアセスメントを活用しながら、施設の整備計画の策定ができるか。		業者などのアセスメントを活用しながら、施設の整備計画を策定する。	→継続	→継続	→継続	→継続	→継続	
		3) 食堂棟の新設、特別棟の改修リニューアル工事、講堂の耐震リニューアル工事の計画の実行	食堂棟の新設、特別棟の改修リニューアル工事等の計画の策定ができるか。	食堂棟の新設、特別棟の改修リニューアル工事等の計画の策定ができるか。	教学内容に影響を及ぼさないように安全安心に配慮しながら、工事計画を実行する。	→継続	→継続	→継続	→継続	→継続	
		4) グラウンドやテニスコートの人工芝化の実行	グラウンドやテニスコートの人工芝化の計画実行をスムーズに進められるか。	グラウンドやテニスコートの人工芝化の計画実行をスムーズに進められるか。	計画案を策定する。	★工事計画を実施する	使用方法や今後のメンテナンス等を確認し、改修なしに使用できる期間を延ばす取組の実施。	→継続	→継続	→継続	
		5) 自転車置き場の屋根の設置の検討	自転車置き場の屋根設置計画の計画実行ができるか。	自転車置き場の屋根設置計画の計画実行ができるか。	計画案を策定する	→継続	★工事計画を実施する	-	-	-	

中期計画の項目					年次計画（2023～2027年度）					備考・特記事項等	
大項目	中項目	小項目	KGI（重要目標達成指標）	KPI（重要業績評価指標）	R5（2023）年度	R6（2024）年度	R7（2025）年度	R8（2026）年度	R9（2027）年度		
IV. 環境の整備	3 生徒のメンタルケアの拡充	1) 生徒相談室・カウンセリングの拡充	カウンセラーの来校回数を増やし、SSWを入れるなどの拡充を図ることができるか。	運営委員会、生徒指導部、人権教育課、健康管理課での連携を深めて、研究をすすめて対応力を強化する。	カウンセラーの来校回数を増やし、SSWを入れるなどの拡充を図る。	→継続	→継続	→継続	→継続		
		2) 生徒の居場所づくりの推進	生徒相談室・保健室を中心に、教員の見守る力を向上させ、安心できる環境づくりを進められるか。		生徒相談室・保健室を中心に、教員の見守る力を向上させ、安心できる環境づくりを進める。	→継続	→継続	→継続	→継続		
		3) 教員の対応力の資質向上の取り組み	研修等を通して、傾聴や対応する力を向上させられるか。		研修等を通して、傾聴や対応する力を向上させる。	→継続	→継続	→継続	→継続		
	4 学校評価制度の拡充	1) 現在実施しているアンケート方法の検証と見直し	生徒保護者に対するアンケートの実施やその評価方法を研究し評価制度を拡充させられるか。	運営委員会で検討していく。	保護者全員へのアンケートの実施の検討を行い、可能であれば実施する。	→継続	→継続	→継続	→継続		
		2) アンケート実施後の評価制度の検証と見直し	学校評価アンケートの実施方法等を検証し修正をしていけるか。		外部業者の活用を含めて方法を見直しを図る。	→継続	→継続	→継続	→継続		
	5 その他	1) 災害時用品の備蓄	法人本部と連携して、学園に必要な災害時用品の備蓄できるか。	運営委員会で検討していく。	法人本部と連携して、学園に必要な災害時用品の備蓄する。	→継続	→継続	→継続	→継続		
	V. 経営基盤の確立	1 人事管理について	1) 教職員の採用・人事配置・定数管理・人件費率等の適正な管理	年齢、キャリアなどでバランスが取れるような人事採用ができるか。	管理職で原案を作り、人事委員会で検討して実行をする。	年齢、キャリアなどでバランスが取れるような人事採用をする。	→継続	→継続	→継続	→継続	
		2 財務運営について	1) 適正な予算執行から健全な財務状況の確立	各部門、部署で適切な予算計画を策定し、計画的な予算執行を行えるか。	計画通り予算執行できるか。	各部門、部署で適切な予算計画を策定し、計画的な予算執行を行う。	→継続	→継続	→継続	→継続	
			2) 経費節減	教職員が経費意識を高めて、教学に関係のない経費を削減することができるか。	電力削減やペーパーレスの推進	教職員が経費意識を高めて、教学に関係のない経費を削減する。	→継続	→継続	→継続	→継続	
3) 人件費率の抑制			働き方改革等への対応をしていく中で、人件費率を60%内に抑えることができるか。	働き方改革に沿った労働条件の修正を行っても人件費率が60%以内に収められるか。	人件費率60%以内に納めることを目指した取り組みを行う。	→継続	→継続	→継続	→継続		
4) 施設関係経費の精査と計画的な施設整備計画			計画的に施設整備計画を策定し実行していけるか。	管理職と法人本部と連携をしながら対応する。	計画的に施設整備計画を策定する。	→継続	→継続	→継続	→継続		
3 生徒募集について		1) 計画的な募集生徒数の策定	中学60名、高校400名以上の入学生の獲得することができるか。	運営委員会と入試広報部で連携をしながら、募集対策に取り組む。	★中学70名、高校430名の入学生の獲得	★中学70名、高校430名の入学生の獲得	★中学70名、高校420名の入学生の獲得	★中学70名、高校410名の入学生の獲得	★中学70名、高校400名の入学生の獲得		
		2) 生徒募集活動の拡充と目標入学生徒数の獲得	計画的かつ有効な生徒募集活動を実施できるか		計画的かつ有効な生徒募集活動を実施する。	→継続	→継続	→継続	→継続		

中期計画の項目					年次計画（2023～2027年度）					備考・特記事項等	
大項目	中項目	小項目	KGI（重要目標達成指標）	KPI（重要業績評価指標）	R5（2023）年度	R6（2024）年度	R7（2025）年度	R8（2026）年度	R9（2027）年度		
V. 経営基盤の確立	3 生徒募集について	3) 生徒募集に繋がる学園の魅力作りと掘り起こし	入試広報部を中心として教職員全体が協力して取り組めるか。	運営委員会と入試広報部が連携を深めながら取り組む。	入試広報部を中心として教職員全体が協力体制の構築確認	→継続	→継続	→継続	→継続		
		4) 「VIVA羽衣」等生徒が参画できる企画の拡充	参画する生徒数を増加し、内容を充実させることができるか。	オープンキャンパス等でも声掛けをしながら、在校生を勧誘していく。	★参加人数を20名以上とする。	★参加人数を20名以上とする。	★参加人数を30名以上とする。	★参加人数を30名以上とする。	★参加人数を35名以上とする。		
	4 組織運営について	1) 同一法人内での中・高・大の連携の強化	新規の連携強化策の策定をすることができるか。	三者会議を起点として、中高大で連携できる取り組みを模索する。	新規連携プログラムの策定実施をする。	→継続	→継続	→継続	→継続	→継続	
		2) 属人化からの脱却に向けた組織づくり	教職員個人の成長と組織の成長に向けた取り組みを実行することができるか。	運営委員会を中心として、教職員研修の設定や組織の見直しを検討する。	教職員個人の成長と組織の成長に向けた取り組みを実行する。	→継続	→継続	→継続	→継続	→継続	
		3) 学年、各部門等の組織力を高める取り組み	教職員個人の成長と組織の成長に向けた取り組みを実行することができるか。	運営委員会を中心として、組織や連携方法を検討して見直す。		→継続	→継続	→継続	→継続	→継続	
		4) 規程などの整備、見直し	本部、大学と協力協議しながら取り組むことができるか。	重要度が高いものを洗い出し、着実に整備、見直しを図る。	本部、大学と協力協議しながら取り組む。	→継続	→継続	→継続	→継続	→継続	
	5 計画・施策の実行力向上について	1) 学園が取り組むべき最重要課題の精査	生徒募集対策を軸として安定した財務計画を策定執行できるか。	教職員からの意見を吸い上げ、持続可能な生徒募集対策と財務計画を策定する。	★生徒募集対策を軸として安定した財務計画を策定執行。	→継続	→継続	→継続	→継続	→継続	
		2) 経営計画の実行力向上への取り組み	管理責任を明確にしながら持続可能な取り組みを策定することができるか。	法人本部と連携を深めながら、学園に合った管理体制を策定、強化する。	管理責任を明確にしながら持続可能な取り組みを策定する。	→継続	→継続	→継続	→継続	→継続	
	VI. 労働環境の整備	1 健全な労働環境の整備	1) 「働き方改革」に沿って教職員が安全・快適に勤務できるように良い労働条件を追究	部署や部門ごとに施策を検討し、実行可能なものを具現化していくことができるか。	他校事例などを参考にしながら検討を行う。	部署や部門ごとに施策を検討し、実行可能なものを具現化していく。	→継続	→継続	→継続	→継続	
			2) 一日研修日検討委員会の立ち上げと一日研修日の実行	一日研修日の実施に向けて、財務や教職員の給与を維持しながら種々の課題をクリアして一日研修日の設定をすることができるか。	会議を執行し、検討を行い一日研修日が実施できるか。	研修日検討委員会で審議をしながらできれば実行案を策定する。	→継続	→継続	→継続	→継続	
3) 有給休暇取得率の上昇			教職員全員が5日以上の有給休暇を取得でき、有給休暇消化率を上げられるか。	有休消化を管理しながら、教員に啓発を行う。	教職員全員が5日以上の有給休暇を取得でき、有給休暇消化率を上げる。	→継続	→継続	★教職員全員が6日以上の有給休暇を取得でき、有給休暇消化率を上げる。	→継続	★教職員全員が7日以上の有給休暇を取得でき、有給休暇消化率を上げる。	

中期計画の項目					年次計画（2023～2027年度）					備考・特記事項等
大項目	中項目	小項目	KGI（重要目標達成指標）	KPI（重要業績評価指標）	R5（2023）年度	R6（2024）年度	R7（2025）年度	R8（2026）年度	R9（2027）年度	
VI. 労働環境の整備	1 健全な労働環境の整備	4) 安全衛生委員会の実施	安全衛生委員会で改善点などを洗い出し、より良い労働環境へと修正することができるか。	毎月必ず労働安全衛生委員会を開催し、	安全衛生委員会で改善点などを洗い出し、より良い労働環境の構築	→継続	→継続	→継続	→継続	
		5) DXの有効活用を推進	仕事を軽減し、教職員が効率良く力を発揮できる環境整備の実行することができるか。	仕事を軽減し、教職員が効率良く力を発揮できる環境整備を実施できるか。	仕事を軽減し、教職員が効率良く力を発揮できる環境整備を行う。	→継続	→継続	→継続	→継続	
		6) 労使双方の代表による労働条件の協議の推進	職員室の備品の整備などのハード面も含めてより良い労働環境を追求することができるか。	一日研修日検討委員会等で、総合的に議論を深めて環境改善を目指す。	職員室の備品の整備などのハード面も含めてより良い労働環境を追求する。	→継続	職員室の机を順次刷新する。	→継続	職員室の備品の整備などのハード面も含めてより良い労働環境を追求する。	
		7) 会議の回数、時間の削減に向けた取り組み	グループウェアの活用や、教職員の働き方の意識改革を進めて、会議の回数や時間の削減を行うことができるか。	DX推進会議メンバーの意見も取り入れながら、運営委員会を中心に質を落とさずに削減することを目指す。	グループウェアの活用や、教職員の働き方の意識改革を進めて、会議の回数や時間の削減を行う。	→継続	→継続	→継続	→継続	
		8) 長時間労働を良しとしない職場風土作り	出退勤時間の管理を行い、適正に勤務時間等の管理を行い、教職員の心身の健康の維持をしていくことができるか。	出退勤時間の管理を徹底し、短時間労働に向けての施策を検討する。	出退勤時間の管理を行い、適正に勤務時間等の管理により教職員の心身の健康の維持をする。	→継続	→継続	→継続	→継続	
VII. その他	1 創立100周年に向けて	1) 学園の創立100周年記念事業に向けて取り組みを強化する。	法人、大学とも連携をしながら、記念事業の円滑な実行に向けての準備実行を行えるか。	100周年記念事業を学園を挙げて取り組めるように協力体制を策定する。	法人、大学とも連携をしながら、記念事業の円滑な実行に向けての準備実行を行う。	→継続	→継続	→継続	→継続	
	2 SDGsの取り組み	1) 学園を上げてSDGsの取り組みの強化	教職員、生徒への周知と取り組みの具現化を進められるか。	重点取り組み項目を策定し、身近な所から取り組んでいく。	教職員、生徒への周知と取り組む企画を増やす。	→継続	→継続	→継続	→継続	